

三気堂薬局をご利用の皆様へ

当薬局では、全国どの保険医療機関の処方箋でも応需しております。
お薬のことだけでなく、健康に関することや、ジェネリック医薬品・バイオ後続品についてもご相談をお受けしておりますので、薬局スタッフまでお気軽にお申し付けください。

《取り扱いのある医療保険及び公費負担医療について》

- ・健康保険法に基づく保険薬局としての指定
- ・生活保護法に基づく指定
- ・公害健康被害の補償等に関する法律に基づく指定
- ・原子爆弾被害者に対する援護に関する法律に基づく指定
- ・労働者災害補償保険法に基づく指定
- ・児童福祉法に基づく指定
- ・難病の患者に対する医療等に関する法律に基づく指定
- ・障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定*

*店舗により取り扱いが異なります。お問い合わせください。

《「個別の調剤報酬算定項目の分かる明細書」の発行について》

医療の透明化や患者様への情報提供を積極的に推進していく観点から、領収書の発行の際に、個別の調剤報酬の算定項目の分かる明細書を無料で発行致します。

明細書は使用した薬剤の名前などが記載されており、公費負担等で窓口でのお支払いがない方の場合でも発行しております。

《療養の給付と直接関係ないサービス等の取扱いについて》

＜薬剤の容器代＞

容器1個につき50円を頂いております。*50g・100g軟膏容器は100円

＜患者へ調剤した医薬品の持参料＞

患者様の都合・希望に基づく医薬品の持参料は原則として頂いておりません

＜希望に基づく甘味剤等の添加＞

(治療上の必要性がなく、問題がない場合)

原則として料金は頂いておりません

＜希望に基づく一包化＞ *服用時点ごとにまとめて包装する事

治療上一包化が必要と判断され、医師の指示があった場合は、規定の調剤報酬点数表に従い徴収いたします。

《ジェネリック医薬品及びバイオ後続品について》

ジェネリック医薬品とは、先発医薬品と有効成分が同じで、品質、効き目、安全性が同等なお薬のことです。中には、味や飲みやすさ等が改良されているものもあります。

バイオ後続品は、先行バイオ医薬品と同じ効能・効果、用法・用量で使える(=同等/同

質である) お薬のことです。

新薬に比べ開発費が少ないために、一般的には先発医薬品より低価格になります。

当薬局では、積極的にジェネリック医薬品及びバイオ後続品を調剤しています。処方記載のジェネリック医薬品またはバイオ後続品から先発医薬品へ変更する場合には、処方医の許可が必要ですので、先発医薬品またはバイオ後続品を希望される患者様は予めスタッフにお申し出下さい。

※必ずしも全ての医薬品が変更できるとは限りませんのでご了承下さい。

また、在庫の関係上お時間がかかる場合があります。

《服薬管理指導料について》

患者さまごとに作成した薬剤服用歴をもとに、処方されたお薬に重複や相互作用、アレルギーのリスクがないかを確認しています。その上で、薬剤情報提供文書を用いて、お薬の正しい服用方法や注意点についてご説明しています。

また、お薬をお渡しする際には、患者さまの服薬状況や体調の変化、残薬の有無などを確認しながら、適切にお薬を使用していただくために必要な情報を丁寧にお伝えしています。薬をお渡しした後も、服薬中の体調の変化や服薬状況について継続的に確認を行い、必要に応じて追加の説明やアドバイスを実施しています。

過去3ヶ月以内に処方せんを持参した患者さまは、服薬管理指導料が45点となります。

過去3ヶ月以内に処方せんのご持参のなかった患者様及び、初めて来局される患者様は服薬管理指導料が59点となりますのでご了承ください。

《調剤管理料について》

患者さまやご家族から伺った投薬歴や副作用・アレルギーの有無、服薬の状況、お薬手帳の情報、医薬品リスク管理計画(RMP)などをもとに、薬剤師が薬学的に分析・評価を行います。その上で、患者さま一人ひとりに適した薬剤服用歴の記録や必要な薬学的管理を実施しています。必要と判断される場合には、処方内容について医師へ提案を行うこともあります。

《夜間・休日加算について》

下記時間に夜間・休日加算を処方箋受付1回につき40点加算しています。

平日 19:00以降、土曜日 13:00以降

※12月29日、30日、1月3日開局日の平日は終日夜間・休日加算。

※日曜・祝日の開局日(12月29日、30日、1月3日も該当)及び、

12月31日、1月1日、2日開局日は終日休日加算となります。

《かかりつけ薬剤師について》

かかりつけ薬剤師をご活用頂くことで、下記のようなメリットをご提供できます。

◎ひとりの薬剤師がひとりの患者さんの服薬状況を一カ所の薬局でまとめて管理し、かつ、それを継続して行いますので、安全・安心にお薬を使用できます。

◎24時間対応を行ったり、外出が難しい患者さんのお宅に伺い、お薬のご説明をしたり、残薬(手元に残っている薬)の確認も行います。

◎処方医や地域の医療機関等と連携し、チームで患者さんを支えられる関係を日ごろから

作っていきます。

《電子的調剤情報連携体制整備加算について》

当薬局では、下記の通りオンライン資格確認等システムの運用を行っており、電子的調剤情報連携体制整備加算（8点 月に1回）を算定しております。

- ・オンライン資格確認システムを通じて患者様の診療情報、薬剤情報等を取得し、調剤、服薬指導を行う際に当該情報を閲覧し、活用しています。
- ・マイナ保険証カードの健康保険証利用を促進する等、医療 DX を通じて質の高い医療を提供できるように取り組んでいます。
- ・電子処方箋や電子カルテ情報共有サービスを活用するなど、医療 DX に係る取組を実施しています。

《連携強化加算について》

当薬局では、災害や新興感染症の発生時などにおける医療品供給や衛生管理に係る対応など、地域において必要な役割を果たすことができる体制を整えており、連携強化加算を算定しています。

《後発医薬品のある先発医薬品（長期収載品）の選定療養について》

令和6年10月から後発医薬品(ジェネリック医薬品)があるお薬で、先発医薬品の処方を希望される場合は、特別の料金をお支払いいただいています。

- ◎特別の料金とは、先発医薬品と後発医薬品の価格差の2分の1相当の料金のことを言います。
- ◎「特別の料金」は課税対象であるため、消費税分を加えてお支払いいただきます。
※端数処理の関係などで特別の料金が2分の1ちょうどにならない場合もあります。
- ◎後発医薬品がいくつか存在する場合は、薬価が一番高い後発医薬品との価格差で計算します。薬剤料以外の費用（調剤の費用）はこれまでと変わりません。

《個人情報の取り扱いおよびサイバーセキュリティ対策について》

(個人情報の保護)

当薬局では、患者様の個人情報（処方箋の内容、服薬歴、アレルギー情報など）を適切に管理し、調剤業務や服薬指導、医療保険事務などの必要な範囲内でのみ利用いたします。法令に基づく場合を除き、ご本人の同意なく第三者に提供することはありません。

(サイバーセキュリティ対策)

厚生労働省の「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」等に基づき、患者様の情報を守るため、システムの適切なセキュリティ対策を実施しております。

最終更新日：2026年7月3日